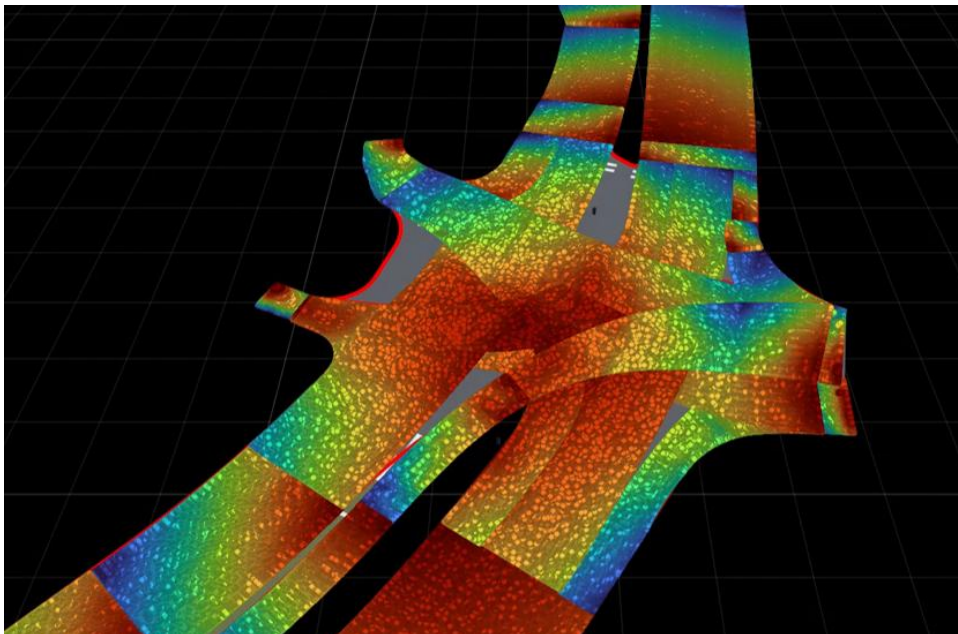


高精度 3 次元データから生成した OpenCRG のサンプルデータを公開 AI ネイティブデータのラインアップを拡充

ダイナミックマッププラットフォーム株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長 CEO:吉村 修一、以下「当社」)は、路面の細かな凹凸を表現する標準データ形式「ASAM OpenCRG」のサンプルデータを生成し、Hugging Face で公開している高輪台エリアのデータセットに追加しました。

本データは、AI での利用を前提に設計した「AI ネイティブデータ」の一つで、当社が自動運転や先進運転支援システム(ADAS)向けに整備・蓄積してきた高精度 3 次元データを活用して生成したものです。

- 公開 URL: <https://huggingface.co/datasets/dynamic-maps/hard-intersection-multimodal-sample>



高輪台エリアの OpenCRG データイメージ

当社は高精度 3 次元データの整備にあたり、車両にレーザースキャナーやカメラなどを搭載した MMS(モービルマッピングシステム)を用いて道路を計測しています。計測は路面方向にもレーザーを照射して実施しており、こうして取得したデータを OpenCRG の生成にも活用しています。

今回のサンプル公開を通じて、車両制御やアクチュエータの開発・評価、詳細な路面情報を用いたシミュレーションなど、ユーザーニーズに応じた AI ネイティブデータのラインアップを拡充します。

■企業ニーズを受け、AI ネイティブデータのラインアップを拡充

当社では、AI 向けデータ提供事業「Data for AI」の一環として、AI モデルの開発やシミュレーションでの利用を想定した「AI ネイティブデータ」の整備・提供を進めています。2026 年 6 月には、高精度 3 次元データを活用したサンプルデータセットを Hugging Face で公開しました。

その後、企業へのヒアリングを進める中で、複数社から OpenCRG データに対するニーズが寄せられました。これを受け、OpenCRG データを新たに生成し、そのサンプルを公開しました。

■自動運转向けに蓄積した高精度 3 次元データを OpenCRG 生成に活用

当社は自動運転や ADAS 向けの高精度 3 次元地図データの整備を通じて、MMS による道路計測で取得した高精度 3 次元点群データを蓄積してきました。今回、こうした計測データと、当社が整備した OpenDRIVE 形式の高精度 3 次元地図データを活用し、OpenCRG データを生成しました。

■路面の細かな凹凸を表現する OpenCRG

OpenCRG(Curved Regular Grid)は、道路表面を詳細に記述するための標準データ形式です。道路に沿って格子状のデータを配置し、それぞれの位置に高さなどの値を持たせることで、路面の細かな凹凸を表現します。



OpenCRG による路面形状の再現イメージ

OpenDRIVE が道路形状、車線、道路上のオブジェクトなどを含む道路ネットワークを表現するのに対し、OpenCRG は道路表面を詳細に表現する役割を担います。両者を組み合わせることで、道路構造に加えて詳細な路面形状を反映したシミュレーションに活用できます。

OpenDRIVE と OpenCRG の違いや、路面形状をシミュレーションに反映する意義などについては、当社エンジニアによるコラムで詳しく紹介しています。

- COLUMN 「【テックブログ】道路は『平ら』ではない マップエンジニアが解説する OpenCRG と路面再現」

<https://www.dynamic-maps.co.jp/column/column-2077/>

当社は今後も「Data for AI」の取り組みを通じて、自動運転をはじめ、AI モデル開発やシミュレーション利用などにおけるニーズを捉え、自動運転・ADAS 向けのデータ整備を通じて蓄積してきた技術・知見・データ資産を幅広い用途へ展開することで、AI での開発・評価の高度化に貢献していきます。

【参考リリース】

2026 年 6 月 17 日「ダイナミックマッププラットフォーム、フィジカル AI 向けデータセット事業を始動 高精度 3 次元データを統合した AI ネイティブデータのサンプルを公開」

<https://www.dynamic-maps.co.jp/news/news-1656/>

＜ダイナミックマッププラットフォーム株式会社について＞

当社は日本政府によるバックアップのもと、国内自動車メーカー10 社等の出資により設立されました。日本をヘッドクォーターに、北米・欧州・中東・韓国に拠点を構え、現在 26 ヶ国で事業を展開。自動運転や先進運転支援システム(ADAS)をはじめ、シミュレータ環境構築、インフラ管理、除雪支援など、幅広い用途に向けて高精度 3 次元データを提供しています。

「Modeling the Earth」＝地球のデジタル化をビジョンに、高精度 3 次元データのプラットフォームとして、様々な産業分野におけるイノベーションを共創します。

設立: 2016 年 6 月

本社: 東京都渋谷区

代表者: 吉村 修一

事業内容: 自動運転・ADAS をはじめ多様な産業を対象とした高精度 3 次元データの提供

公式サイト: <https://www.dynamic-maps.co.jp/>

公式 X: https://x.com/dynamic_maps